

1. 沿革

明治 13 年 4 月 県警察本署（現警察本部）に衛生課が設置され、和歌山市西汀丁の県庁内に化学を主とする衛生試験所を設置、業務開始。

明治 36 年 1 月 衛生試験所（木造平屋建 12 坪）を建築。

明治 36 年 3 月 細菌検査室（木造平屋建 36 坪）、動物飼育室（木造平屋建 8 坪）を建築。

昭和 13 年 8 月 和歌山市小松原通一丁目 1 番地（現県庁）に、衛生試験所（木造平屋建 135 坪）を新築し西汀丁より移転。

昭和 14 年 1 月 動物舎（木造平屋建 9 坪）を併設。

昭和 17 年 11 月 官制改正により内政部に移管。

昭和 20 年 7 月 戦災による施設全焼のため化学試験室は県工業指導所に、細菌検査室は住友病院内において急場の業務をとる。

昭和 21 年 2 月 教育民政部に移管。

昭和 22 年 10 月 県庁構内に衛生試験所（木造平屋建 162 坪）を建築。

昭和 23 年 1 月 衛生部創設により細菌検査室は予防課に、化学試験室は薬務課に、乳肉栄養検査室は公衆衛生課にそれぞれ移管。

昭和 23 年 7 月 動物舎（木造平屋建 9 坪）竣工。

昭和 24 年 5 月 衛生試験所（木造平屋建 70 坪）を増築。

昭和 25 年 9 月 県衛生試験所設置規則により全施設を総合して、県衛生研究所として発足。

昭和 40 年 6 月 和歌山市美園町五丁目 25 番地へ一時移転。

昭和 41 年 10 月 東和歌山駅拡大建設に伴い和歌山市徒町 1 番地に総務課および化学部、細菌部の内ウイルス室は市内友田町三丁目 21 番地の和歌山市医師会成人病センターに、細菌室は友田町三丁目 1 番地の和歌山市中央保健所に、それぞれ移転。

昭和 41 年 12 月 和歌山県衛生研究所設置規則を改正し、総務課を庶務係、経理係に、細菌部を微生物部として、細菌室、ウイルス室、疫学室に、化学部を理化学部として、化学室、食品室、薬品室に分け、公害部を新設し、水質室、大気室、環境室を設置。

昭和 42 年 8 月 和歌山県立高等看護学院の庁舎新築移転により、和歌山市医師会成人病センターの微生物部ウイルス室および和歌山市中央保健所の微生物部細菌室を、それぞれ和歌山市徒町 1 番地旧県立高等看護学院に移転。

昭和 44 年 2 月 和歌山市湊東の坪 271 の 2 番地に県衛生研究所（鉄筋 3 階建延 1,198.55m²）が竣工し移転。

昭和 45 年 12 月 衛生研究所公害部が独立して、公害研究所を設置。

昭和 46 年 2 月 公害研究所に県公害対策室直轄の大気汚染常時監視設備を設置。

昭和 46 年 4 月 県衛生研究所設置規則を改正して、理化学部を食品薬化学部とし、食品室、薬品化学室を、また生活環境部を設置して、環境室、病理室を設置。

昭和 47 年 1 月 大気汚染常時監視設備が県企画部生活環境局公害対策室の直轄となる。

昭和 47 年 11 月 公害研究所を廃止して、県公害技術センターを設置。庶務課、大気部、水質部および騒音振動部に、併せて公害対策室から大気汚染常時監視設備とその業務を引き継ぎ、和歌山市湊東の坪 271 の 3 番地に竣工した新庁舎に移転。

昭和 50 年 7 月 公害技術センターの大気部の一部と騒音振動部を監視騒音部に改組。

昭和 51 年 1 月 住居表示変更により、衛生研究所は、和歌山市砂山南三丁目 3 番 47 号。公害技術センターは、和歌山市砂山南三丁目 3 番 45 号となる。

昭和 53 年 7 月 公害行政の一元化に伴い産業廃棄物関連の調査研究業務は、公害技術センター水質部の業務となる。

昭和 57 年 6 月 公害技術センターは、県民局から衛生部に移管。

昭和 58 年 4 月 御坊市菌字円津 255 番地の 4 に御坊監視支所を開設。

昭和 58 年 6 月 機構改革により衛生研究所と公害技術センターを統合、衛生公害研究センターとなり、総務課、保健情報部、微生物部、生活理化学部、大気環境部、水質環境部および御坊監視支所を置く。

昭和 62 年 4 月 保健環境部に移管。

平成 2 年 1 月 御坊監視支所を無人化とする。

平成 8 年 4 月 生活文化部に移管。

平成 12 年 4 月 環境生活部に移管。

平成 15 年 4 月 衛生公害研究センターの名称を環境衛生研究センターに改め、総務管理課、衛生研究部、環境研究部および御坊監視所を置く。衛生研究部に疫学グループ、微生物グループ、衛生グループを、環境研究部に大気環境グループ、水質環境グループを置く。

平成 18 年 4 月 微生物グループに疫学グループを統合し、衛生研究部を 2 グループとする。

平成 23 年 1 月 西館耐震工事実施、太陽光パネル設置。

平成 27 年 3 月 御坊監視支所を廃止。

令和 5 年 4 月 隣接地（東側）に新施設の建設着工。

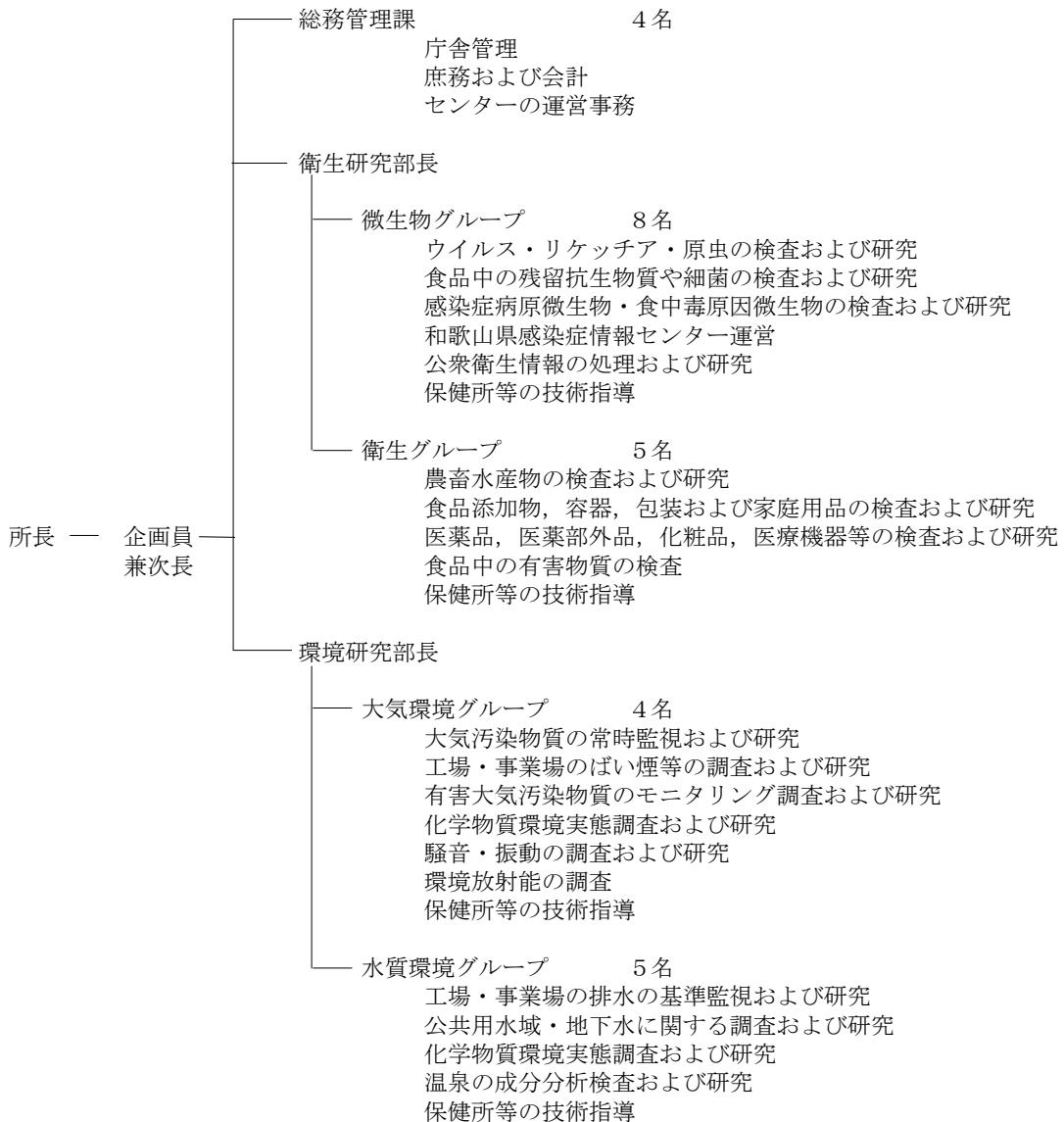
令和 6 年 12 月 新施設竣工。

令和 7 年 4 月 新施設において業務開始

2. 組 織

(1) 機構と事務分掌

R 7. 4. 1 現在



(2) 職員構成

R 7. 4. 1 現在

区分	分	事務職	獣医師	薬剤師	衛生公害技師	臨床検査技師	その他	計
所長	長	1						1
企画員兼次長					1			1
衛生研究部長		1						1
環境研究部長					1			1
総務管理課		4						4
微生物グループ			2	2	1	3		8
衛生グループ				4	1			5
大気環境グループ					4			4
水質環境グループ					5			5
計		4	4	6	13	3		30

3. 事業費・施設等

(1) 事業費等 (R 6)

事業名	決算額(千円)
環境衛生研究センター運営事業	18,165
センター機器整備事業	12,959
試験検査事業	1,052
健康と環境を守る調査研究事業	1,912
環境放射能水準調査事業	42,196
化学物質環境実態調査事業	1,026
環境衛生研究センター再整備事業	535,721
行政依頼分等	69,646
計	682,677

(2) 依頼検査収入 (R 6)

項目	件数(件)	金額(円)
温泉試験	3	339,360
食品, 添加物, 容器又は包装試験	52	147,850
各種証明	0	0
計	55	487,210

(3) 施設

a) 土地 所在地 和歌山市砂山南三丁目3番45号
敷地面積 2,743.42 m²

b) 主な建物 本館
構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階+PH階
建築面積 1,105.49 m²
延床面積 3,480.72 m²
附帯設備 電気, 都市ガス, 給排水, 空調
竣工 令和6年12月

4 F	衛生検体受付室, 衛生ドラフト室, 衛生検査室, 酸ドラフト室, 環境ドラフト室, 大気検査室
3 F	無機分析機器室, LC, LC/MS 分析機器室, GC, GC/MS 分析機器室, 放射能分析機器室, 大気常時監視機器室, 水質検査室, 大気検査室
2 F	微生物検体受付室, ウイルス検査室, 細菌検査室, 高度安全実験室, 解析室, 動物検査室, 保管室, 血清室, 洗浄室, 培地室
1 F	執務室, 会議・研修室, 所長室, 書庫